



いしかわ労福協

第 538 号 2012年11月25日

発行所 石川県労働者福祉協議会
発行責任者 狩山 久弥
編集人 上野 貞彦
〒920-0024 金沢市西念3丁目3番5号
電話 (076) 231-1737
FAX (076) 231-1731
<http://www.ishikawa-rofukukyo.jp>
info@ishikawa-rofukukyo.jp
毎月1回 25日発行
定 価 一部 20円

来年度の政策・制度などを県知事らに要請



谷本正憲石川県知事

石川県労働者福祉協議会は、各自治体担当者への事前説明等を済ませた10月24日(水)から25日(木)にかけて津幡町、内灘町以北の能登地区、31日(水)には野々市市以南の加賀地区の各自治体首長を、狩山久弥理事長を先頭に宮下専務理事、山口隆北陸労働金庫石川県副本部長らに加え、自治体の協力議会議員と地元地域ライフ・サポートセンター代表者が同行して訪ね、労働者福祉の向上に向けた来年度の政策・制度等に関する要請を行った。

首長らは、公務多忙の中にも係わらず快く面談され、当労福協等が要請する事項について真摯に受け止め、前向きな返答も受けた。



山辺芳宣羽咋市長



油野和一郎かほく市長

また、一方で、労働者が働きやすい環境作りや障害者雇用の拡大に向けた取り組みが紹介されたほか、自治体振興や市民の健康増進・文化振興のため勤体協や

勤文協等の行事開催の協力的な提案が示されるなど、活発な意見の交換がされる要請活動となった。

さらに、11月6日(火)には谷本正憲石川県知事を、翌7日(水)には山野之義金沢市長をそれぞれ訪ねた。

狩山理事長は、「来年、創立50周年、ライフ・サポートセンター10周年を迎えることと新公益法人制度に基づく新法人移行に合わせて、これまで以上に労働者をはじめとした市民・県民の福祉の向上、より良い社会づくりに向けて、労福協とライフ・サポートセンターは連携して活動することを予定している。今回の要請事項の実現に理解と協力をいただきたい」と述べて、来年度に向けた政策の実現を強く求め今年度の要請とした。



山野之義金沢市長



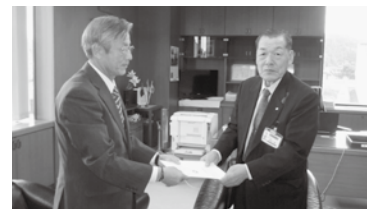
和田慎司小松市長



栗貴章野々市市長



八十出泰成内灘町長



津田達宝達志水町長

平成25(2013)年度 石川県及び市町の施策に対する要請(概要)

Ⅰ. 石川県に対する要請事項

- 1. 労福協「子育て支援ネットワーク」に対するファミリーサポートセンターの協力願い**
石川労福協の「子育て支援ネットワーク」事業は、各市町のファミリーサポートセンターの利用拡大につながる利用料金助成制度を行っている。引き続き県のご支援・ご協力を要請する。
- 2. 生活保護制度「最後のセーフティネット」充実と県民への告知**
生活保護制度は「最後のセーフティネット」であり、不正受給問題を要因とした給付水準の引き下げや審査基準の引き上げ等は本来の趣旨から外れる。本来の趣旨を守るよう国への要請はもちろん、制度の趣旨に添った利用を徹底させるため広報をするともに、受給者が早期に就業できるよう相談コーナーを設置する等の対応を要請する。
- 3. 障害者雇用率の向上**
2013年度(平成25年4月1日)からの障害者法定雇用率引き上げに伴い、労働局と連携し各自治体や事業所に周知するとともに、自らも率先して取り組むよう要請する。
- 4. 改正育児・介護休業法の全面施行に伴う事業所へ指導徹底**
2012年(平成24年)7月1日から育児・介護休業法が全企業に適用することに伴い、労働局と連携し、制度と取得率向上について各事業所に周知徹底されるよう要請する。
- 5. 地方消費者行政の充実と強化**
県民の健康保護を最重視した「食の安全条例」制定と同時に、石川県消費生活支援センターの取り組みによる、問題点の情報提供や対応策の指示、広報も含めて各市町にも指導されるよう要請する。
- 6. 再生可能エネルギーの普及啓発に向けた中小企業への補助金制度のPR活動**
環境対策の様々な取組み・制度の浸透のため、広報に努められるよう要請する。
- 7. 連合石川「2013年度石川県要請」について**
連合石川が提出する「2013年度石川県要請」に対して、県として誠意をもって回答されるよう要請する。

Ⅱ. 市及び町に対する要請事項

- 1. 労福協「子育て支援ネットワーク」に対するファミリーサポートセンターの協力願い**
石川労福協の「子育て支援ネットワーク」事業は、各市町のファミリーサポートセンターの利用拡大につながる利用料金助成制度を行っている。今後も活動のためのご支援・協力をいただけるよう各市町のファミリーサポートセンターに指導されるよう要請する。
- 2. 生活保護制度の利用充実と住民への告知**
生活保護制度の趣旨や正しい利用方法を住民に広報するとともに、受給者の早期就業に向けた支援をされるよう要請する。
- 3. 障害者雇用率の向上**
2013年度(平成25年4月1日)からの障害者法定雇用率引き上げに伴い、県や労働局と連携し事業所に周知するとともに、自ら率先して取り組むよう要請する。
- 4. 改正育児・介護休業法の全面施行に伴う事業所へ指導徹底**
2012年(平成24年)7月1日から育児・介護休業法が全企業に適用することに伴い、県や労働局と連携し、制度と取得率向上について各事業所に周知徹底されるよう要請する。
- 5. 中小企業労働者の福利厚生の格差是正**
「金沢勤労者福祉サービスセンター」は、主体となる金沢市に加え野々市市、内灘町が加入して運営されているが、加入している会員は県内7市5町にまたがっている現状から、スケールメリットを発揮できる広域化のためにも加入を要請する。
- 6. 地域ライフ・サポートセンターに対する支援要請について**
現役労働者と退職者が一体となって労働者福祉と高齢者福祉の向上を目的に活動する9地域のライフ・サポートセンターは、来年、創立10周年を迎える。記念行事として行う記念植樹はもとより、引き続き支援と協力をお願いする。
- 7. 街の主要地点に「標高」「避難場所」を明示する**
万一に備え、外来者等も判りやすい、標高や避難場所を記した案内板を各所に掲示するよう要請する。
- 8. スポーツ、文化事業に対する支援要請について**
石川県勤労者体育協会、石川県勤労者文化協会が主催するスポーツ競技や美術展等の事業に対する共催、協賛、後援のほか、体育館、会館等施設の利用における使用許可及び使用料減免等の配慮を要請する。
- 9. 連合石川地域協議会「2013年度石川県要請」について**
連合石川地域協議会が提出する「2013年度要請」に対して、誠意をもって回答されるよう要請する。

第4回理事会



石川労福協は、第4回理事会を10月22日(月)フレンドパーク石川において、役員18名の参加で開催した。

冒頭、狩山久弥理事長が、「本年度の最大課題である新公益法人制度に基づく一般社団法人への移行認可申請について、予定をやや前倒しして手続きに入った」などと開会挨拶をした後、審議に入った。

宮下亮専務理事が、一般社団法人への移行認可申請、2012年度中間決算報告、本年2回目の婚活支援事業の実施などの審議事項を提案したほか、子育て支援事業やライフ・サポートセンター事業などの活動報告をした。また、会員団体の活動報告については、それぞれの会員団体所属の理事または事務局から報告された。

全ての審議事項・報告事項は、提案どおり承認され、次回理事会を12月21日(金)に開催することを確認して閉会した。

これからの行事予定

(11月25日現在)

開催日	曜日	行 事	会 場
11月 25日	日	珠洲 LSC バス日帰り研修旅行	
28日	水	勤文協 第62回勤美展開幕(～12月2日)	金沢 21世紀美術館
30日	金	食みどり水 全国集会(～12月1日)	大阪市
12月 2日	日	勤文協 第62回勤美展表彰式・合評会	金沢 21世紀美術館
3日	月	会館 応急措置訓練	フレンドパーク石川
4日	火	消団連 第3回理事会、消費者大会第4回実行委員会	フレンドパーク石川
5日	水	中部会館協議会第2回幹事会(～6日)	京都府
11日	火	労福協 第3回事業団体連絡会議	金沢市
21日	金	労福協 第5回理事会	金沢市
27日	木	食みどり水 NW 第8回幹事会	金沢市

福祉なんでも相談アドバイザー会議



11月13日(火)フレンドパーク石川において、第7回福祉なんでも相談アドバイザー会議が開催された。この会議

は、石川県職業能力開発プラザ、いしかわ子育て支援財団、石川県消費生活支援センター、喜成司法書士事務所、社会法律センターや連合石川、北陸労金、全労済と労福協などからの18名で構成され、労福協「福祉なんでも相談」活動における課題の共有や情報交換などの場としたものである。

会議では、各委員から、日頃の相談状況などが報告された。

今回は、石川県消費生活支援センターの納橋雅代氏より、『健康食品の送り付』、『説明不十分な光電話回線の勧誘』など悪質商法の手口が例示されたほか、社会包括センターが取り組む「よりそいホットライン」の相談状況、県職業能力開発センターや連合石川の労働相談状況などが報告された。

これらの報告を受けて盛んに行われた情報交換では、いずれのジャンルの相談についても、「社会でのコミュニケーション不足が起因している傾向が強いのではないか」との印象を強く感じながら会議を終えた。

県 LSC 事務局次長 谷内英明

連合石川第24回定期大会開催

連合石川第24回定期大会が、10月26日(金)石川総合スポーツセンターで開催された。

大会は、執行委員や代議員、谷本正憲石川県知事をはじめ多くの来賓らが出席のなか、冒頭、狩山久弥連合石川会長が「東日本大震災の復興・再生にかかる運動や様々な活動にお礼申し上げる。これからは、成熟した社会・経済環境にふさわしい仕組み・システムを構築することや地域に根差した連合運動の推進などに引き続きご協力をお願い申し上げます」と挨拶した後、議案審議が行われた。

議案審議では、提案した運動方針などの議案が承認された後、「働くことを軸とする安心社会」の実現に向けて狩山会長のガンバロウ三唱とともに2013年度がスタートした。



婚活支援事業「紅葉ウォーク&ランチパーティ」

労福協婚活事業「ろうふく“むすび”ネット」は、11月17日(土)津幡町の県森林公園「森のレストラン」において「森林浴・紅葉ウォーキング&ランチパーティ」を開催した。

前日の好天からうって変わった生憎の雨の中、参加した男女各20名は、各人のニックネームや嗜好などを記載したプロフィールシートを手にしてのフリートーキングから始まり、互いに自己紹介したあと、雨の森林公園の遊歩道を5つのチェックポイントを回るウォークラリーを楽しんだ。

ウォークラリーの後は、会場の森のレストランで、名物のチキンカレー、ピザ、ケーキなど



を食べながら、参加者等は異性と最後のフリートーキングで盛り上がり、マッチングシートに意中の相手を記載した。

マッチングの結果発表までの間、ウォークラリーの優秀チームにプレゼントが贈られ賑やかな雰囲気となったところで、司会者から、「カップルの誕生が無かった」旨のマッチング結果が発表され終了した。

全国クレサラ・ヤミ金被害者交流集会



10月27・28日、第32回全国クレサラ・ヤミ金被害者交流集会が北海道札幌市内の2会場をメイン会場として、全国から弁護士・司法書士・被害者団体・札幌市・地元労働福祉団体や韓国などの諸外国から総勢700余名の参加があり、グローバルな大集会が開催された。

初日は19の分科会が開催され、私は「震災による様々な問題と向き合い、これからの支援の在り方を考える」分科会に参加した。

25名の参加者の中から、震災後「まだ何か出来ないか？本当の実態はどうなんだろう？」と質問があり、被災者で宮古市から参加したNPO団体から、震災時の生々しい映像が上映され、今、何かやらなければ生きていけないとの思いから起きた「さをり織」活動が紹介された。また、「今、何の支援が求められていますか？」の問いに「去年の地震発生時には物資が

偏って沢山あったこともあり、地元商店街などはその影響で物が売れない。したがって、雇用が増やせないなど、今現在も厳しい状況にある。被災者ニーズは多様だがこれに応え、地元で消費することが求められている」と報告された。

2日目は全体会が開かれ、藤本明実行委員長から「断ち切ろう貧困の連鎖を!!許すな!金利引き上げ」のテーマが紹介されて開会挨拶に続き、弁護士会長・司法書士会長などの歓迎挨拶があった。

次に法政大学教授水島宏明氏により「見えにくくなる貧困～報道する内と外から見た課題」の講演がされた。

水島教授は元マスコミ関係者であり、「生活保護問題は、濫給(不正受給)問題～生活保護バッシング～次長課長河本会見～恥～などと報道されたことから、日本人の意識には『生活保護=恥』という思いがあり、支給側も極力支給しないことを『良』としてきた。マスコミも濫給(不正受給)問題として大きく取り上げた。しかしながら、『生きる権利に対する制度』が本来の姿であり、受給権のある方々に対する『漏給』を焦点とすることで、貧困を救うことに結びついていく。これを機に参加者の『思いを一つ』に頑張っていこう」と講演した。

また、貸金業法の上限金利規制の緩和、総量規制の撤廃の動きがあり、再改正を許さないことなどを提起して集会を終えた。

県LSC事務局次長 谷内英明

「子育て支援メッセいしかわ2012」の協賛



石川労福協「ろうふくきょう子育てネット」は、10月20日(土)に石川県産業展示館3号館で開催された「子育て支援メッセいしかわ2012」に協賛出展して会員拡大を広報した。

主催者の(財)いしかわ子育て支援財団は、「地域も企業もみんな子育て支援を」という開催テーマをメインに、90の企業・関係団体がPR

ブースに出展し、子ども連れの家族を中心に大変賑わっていた。

「子育てネット」のブースには、親子連れ約300人もの来場者があった。

「子育てネット」では、PRブースにポスター・チラシを展示するとともに、来場者に会員拡大のためのチラシ配布を行うと同時に、親子での輪投げを実施し、輪が入った子どもらには、景品をプレゼントするなど、子育てネット事業を拡大するためのPRを行った。

なお、当日は、育児用品などのフリーマーケットや会場ステージ、バルーンドームなどで終日盛り上がっていた。

子育てネット 担当 紙谷加奈子

第43回県消費者大会



石川県消費者大会実行委員会(石川県消費者団体連絡会ほか)は、11月12日(月)労済会館ホールにおいて約130名の参加により第43回消費者大会を開催した。

高橋久仁子教授 大会は、食品に関する情報が氾濫する中での健康食品、特定保健用食品等の効用などについて取り上げ、「食べ物情報 ウ

ソ・ホント!?～氾濫する食情報を正しく読み取るために～」をテーマに群馬大学教育学部教授の高橋久仁子氏を招いて講演を行った。

講演では、高橋教授が「さも健康に好影響を与えると騙るなど、誇張したり偏った情報の提供で、消費者は期待や不安をいだき『それさえ飲め(食べれ)ば、[万病解決]、[食事制限や運動せずに痩せられる]』などの誤った理解に陥り、かえって健康を害するケースもある。人の健康は、栄養と休養と運動のバランスが調和することで維持されており、食情報のカラクリを見破る賢い消費者となりたい」と消費者の健康願望に付け込まれない目を養うことが必要であるとした。会場からは質問も多数出され、最後に宮下亮実行委員が「食情報を正確に読み取り、コマーシャルに惑わされない賢い消費者であって欲しい」と挨拶し閉会した。

勤 体 協

- | | | | | | | |
|--|---|--|--|--|--|--|
| <p>第46回県勤労者秋季体育大会バレーボール大会(10月28日・加賀市SC)</p> <p>◇男子 ①BBQ ②Michael R ③北菱電興</p> <p>◇女子 ①BOND ②加賀クラブ ③ORANGE</p> | <p>第46回県勤労者秋季体育大会ゴルフ大会(10月28日・かほく市高松グラウンドゴルフ場)</p> <p>◇男子 ①浜北レッツ ドマックス ②マリ ガレット ③ヒロシ & フレンズ</p> <p>◇女子 ①松任レ デイス5人組 ②今 も姉ちゃん ③志賀 バードイ会花組</p> | <p>サイアーランニング(10月28日・金沢市犀川河川敷 若宮大橋下)</p> <p>サイアーランニング大会が行われ、5キロ、10キロ、20キロ、30キロの4部門に10</p> | <p>第46回県勤労者秋季体育大会卓球大会(11月4日・七尾市中島体育館)</p> <p>◇硬式 ▽男子 ①チーム大志 ②S-55 ③Fixed Star</p> <p>◇卓球 ▽女子 ①ff花 ②ff星 ③</p> | <p>第46回県勤労者秋季体育大会第12回クライミング大会(11月4日・医王山スポーツセンター)</p> <p>◇一般 ▽男子 ①牧谷勇子 ②船橋裕己 ③北川利章 ▽女子 ①中島亜希 ②片倉綾子 ③畠中郁美</p> <p>◇シルバー ▽男子 ①南川光生 ②鷲池幸司 ③塚本吉弘 ▽女子 ①南川聖子 ②岡田美智江 ③出戸克美</p> <p>◇ゴールド ▽男子 ①中島昭二 ②宮保順志郎 ③永井武司 ▽女子 ①向出照子 ②中前紀代美</p> | <p>第11回輪島市長杯勤労者バスケットボールオープン大会(11月18日・輪島市一本松総合運動公園体育館ほか)</p> <p>◇一般 ①GOKKUN ②JDN ③クリボー ④Red Camelia</p> <p>▽最優秀選手 小林賢士(G) ▽優秀選手 小林祐介(G)、高碕勝也(J)、寺田将也(K)、林義勝(R)</p> <p>◇混合 ①ルーザーズ ②レインボーイズ ③MARIC ④田鶴浜クラブ</p> <p>▽最優秀選手 大島遊子(R) ▽優秀選手 加藤大希(R)、竹林陽香(R)、坂千晶(M)、山本麻衣(田)</p> | <p>勤体協、ウイנס</p> <p>◇ラージ ▽男子 ①のとよりしま ②档の会 ③羽昨卓友会、中島クラブ ▽女子 ①内灘クラブ ②七尾スターズB ③七尾スターズA、ななおクラブB</p> |
|--|---|--|--|--|--|--|

白 山 ・ 野 々 市 L S C

秋の研修旅行

猛暑続きの今夏も10月の後半になって、秋風を感じるようになった10月27日、白山・野々市LSC恒例のバス・ツアーを実施した。

男女合わせて36名の会員が和気藹々と信州の紅葉散策に出掛けた。日頃の忙しさから解放され笑顔でのスタートだった。肌寒さを感じる戸隠高原はベストシーズンで紅葉の素晴らしさに参加者達は異口同音感嘆しきりだった。うっすらと汗をかくような紅葉散策を楽しみ、昼食箇所を過ぎ、「高橋まゆみ人形館」を訪ね、田園風景にほのぼのとした老夫婦の仕草や情景に心やすまるひと時に散策疲れを忘れ、再び車中の人。続いてワイン園で解説を聞きながら試飲を済ませ、お土産袋一杯にして帰路についた。事故やけが人もなく複数乗務員の運行で楽しい旅行でした。

白山・野々市地域LSC 会長 油 省三



「クリーン作戦」に参加

10月28日の白山市全体の「クリーン作戦」に合わせて、かが地協の松任地区の現役の会員と白山・野々市LSCとが共同で奉仕作業を展開した。

例年JR松任駅周辺で実施していたが、本年は白山市総合運動公園に場所を移して早朝から約1時間、空き缶やゴミを収集して公園をさっぱりさせた。

日頃、県下から総合体育館などへの利用者が多く心配をしていたが、予想外にゴミなどは少なく、それでも30名の参加者みんなのゴミ袋を集めればそれなりに集まり、クリーン作戦は無事終了した。

白山・野々市地域LSC 会長 油 省三



河 北 L S C

秋季名所めぐり

11月10日(土)河北地域ライフ・サポートセンターは、バスツアー秋季名所めぐり「宝達志水～羽咋近辺」を27名の参加で開催した。

当日は、2～3日前の雨模様と違って晴れの天気に恵まれた。

今年もつばたボランティアガイドの桑江氏の名調子に感心しながら、宝達志水町近辺を散策した。

コースは、「喜多家～散田金谷遺跡～専勝寺～昼食(北本)～豊財院(ぶざいいん)～永光寺(ようこうじ)」で、特に、洞谷山(とうこくさん)永光寺は、国道159号線から山側に入った所にあり、途中に整備された散策路の紅葉が見ごろであった。

永光寺は、700年前に曹洞宗の螢山禅師(けいざんぜんじ)が開かれたお寺で、歴史の重みを十分感じさせられた。

河北地域LSC 吉川武久



津幡町ござっさい祭り

10月28日(日)津幡町倶利伽羅塾で開かれた「ござっさい祭り」に、河北地域ライフ・サポートセン

ターとして、「くりからふるさとづくり協議会」よりテントを借り出店した。

今年はいにくの空模様で、お客様の出足はあまり良くなかったが、「コープたまほこ」から仕入れたマヨネーズ、ケチャップ、リンゴ、バナナ等を市価より大幅に安く販売した為、午前中に一部の商品を残しほぼ完売した。

また、労金、全労済、ライフ・サポートのチラシを商品と一緒に袋に入れてアピールした。

河北地域LSC 吉川武久

